



報道関係者各位

平成27年4月8日
青森県立保健大学

健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート宣言について

健やか力（ヘルスリテラシー向上）サポート宣言

2015年、青森県立保健大学は、県民の健やか力（ヘルスリテラシー）向上をめざして、大学をあげて取り組みます。

平成27年4月、県立保健大学は、「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート宣言」をし、県民の健やか力（ヘルスリテラシー）向上に大学をあげて取り組みます。

中心となる取組は、地域活動への学生参画をとおして、地域住民の健やか力（ヘルスリテラシー）の向上を支援する人材を育成し、もって地域の課題解決に資することです。

本事業は、青森県の抱える短い平均寿命、高い生活習慣病死亡率、高い小児肥満率などの健康課題の解決に向け、大学をあげて取り組むものです。

宣言の具体的な内容（宣言の趣旨、目的（保健大学がめざすこと）、全体像（プロジェクト）、実施のスキーム、27年度事業計画 等）は、別添のとおりです。

問い合わせ*****

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-2009 FAX:017-765-2688

担当：事務局経営企画室 主査 小山内 和香子

青森県立保健大学

健やか力（ヘルスリテラシー） 向上サポート宣言

2015年、青森県立保健大学は、県民の健やか力（ヘルスリテラシー）向上をめざして、大学をあげて取り組みます。

- I 宣言の趣旨
- II 目的（保健大学がめざすこと）
- III 全体像（プロジェクト）
- IV 実施のスキーム
- V 27年度事業計画

宣言の趣旨

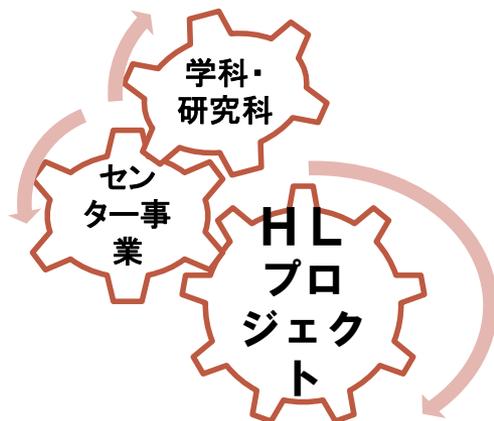
本事業は、青森県がかかえる短い平均寿命、高い生活習慣病死亡率、高い小児肥満率などの健康課題の解決に向け、大学をあげて取り組むものです。



中心となる取り組みは、地域活動への学生参画をとおして、地域住民の“健やか力（ヘルスリテラシー）”の向上を支援する人材を育成し、もって地域の課題解決に資することをめざすことです。

この取り組みを核とし、青森市の地域貢献事業への学生参画型演習、また大学院での人材育成や研究成果還元等を統合し、ヘルスリテラシープロジェクトとして総合的に取り組みます。

このほかに、地域連携・国際センター、研究推進・知的財産センターの事業に、ヘルスリテラシー向上をテーマとした事業を組み込んでいきます。



また、学生、教職員から広く“ヘルスリテラシー向上”への取り組みを募集し、すぐれた取り組みを支援します。

大学としては、ヘルスリテラシー向上を推進するための環境を整えていきます。

目的：青森県立保健大学がめざすこと

- ヘルスリテラシー向上をサポートできる知識をもった**人材を育成**します。

学生自らが、“健やか力”を備え、かつ、地域の健康課題を理解し地域に密着した専門職としての実践を身につけ、ヘルスリテラシー向上を支援できる人材を育成します。

これらのカリキュラムを通して培った知識・実践力は、県内／県外出身者を問わず、地域の人々に必要とされる仕事に生かすことができるものです。

また、大学院では地域の課題解決に向け、研究者／高度実践者としての知識・実践力を身につけた人材を育成します。

- 地域と協力し、学生が行う演習や実習等の活動を通して地域に参画し、また、地域の方々を対象とした公開講座、研修会等を通して、**地域のヘルスリテラシー向上**に貢献します。

- ヘルスリテラシーに関する研究開発事業を通して、**知識の還元**につとめます。

- 様々なイベントや取り組みを通して、ヘルスリテラシーの**普及**につとめます。

- ヘルスリテラシー向上**知(地)の拠点**となります。

健やか力（ヘルスリテラシー）向上プロジェクト

青森県、青森市



<青森県>

- ・低い平均寿命 ・中期の高い死亡率
- ・生活習慣病による高い死亡率、・小児肥満

<青森市>

- ・平均寿命県内最下位、全国下位4位、高い三大死因、高い自殺率、低い出生率



公立大学法人

青森県立保健大学

Aomori University of Health and Welfare

- (1)地域住民の健やか力（ヘルスリテラシー）の向上
- (2)ライフステージに応じた生活習慣等の改善
- (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

【社会貢献班】

県民の健やか力（ヘルスリテラシー）の向上と学生参画活動

教育目標：地域特性へ対応できる人材

【人材育成班】

地域ヘルスリテラシープロモーターの育成

地域ヘルスリテラシー向上カリキュラムの導入

【研究班】

地域住民のヘルスリテラシーの向上に向け、地域に根差した「保健」に特化した大学の機能を活かした研究及び大学院境域と関連づけた「知識還元」

大学あげての取り組みを！

【事業推進体制】

●ヘルスリテラシー推進会議：

事業の方向性決定、重要事項検討、事業の評価

●ヘルスリテラシー推進委員会：

具体的な事業の検討と実施

【学科・研究科】

●カリキュラム改訂、科目内容変更

⇒人材育成

●教員の個人研究

⇒地域の課題解決研究

●社会貢献

【大学】

●学部、研究科カリキュラム改訂

●ヘルスリテラシー関連担当教員の確保

●教員のFD

●取り組み環境の整備

●関連諸機関との連携

実施のスキーム Milestone

26年度

- ・HL基本計画策定

27年度

- ・HL推進組織化
- ・HL事業開始
- ・HL向上サポート宣言
- ・広報

28年度

- ・計画の実施

29年度

- ・計画の実施
(大学院新カリキュラムへの移行)
- ・中間評価

30年度

- ・プロジェクト完了(学部新カリキュラムの移行、地域貢献、研究活動の継続)
- ・取り組みの評価

27年度事業計画

【地域研修】

- ・HL向上を目的とした講座(すこやかゼミ、HL特別公開講座)
- ・青森市連携事業(杖なし会、あおもり健康づくりサポーター(リーダー)、思春期ピアサポート)
- ・ココかれっじ子育て支援
- ・ケア付きねぶた

【人材育成】

・学部教育課程でのHL教育

- ①人間総合科学科目への導入(科目群名称変更)
 - ②健康科学部専門科目への導入(HL特殊講義への導入)
 - ③専門科目への導入(第5次カリキュラムにむけた導入の検討)
- ・HLに関わる学生の自主的活動支援・事業化
 - ・大学祭を機会としたHL向上推進

【知識還元】

- ・HL推進研究(指定型研究、成果発表)
- ・大学院機能を活かした人材育成と研究推進(コース・カリキュラムの検討改変、HL関連教育・演習の展開、院生参加による研究推進)
- ・地域への成果還元(大学院の教育研究を通じた地域資源の強化、研究成果の戦略的還元)

その他の取り組み

- ・図書館：HL関連図書ブックフェア(図書購入、関連文献リスト作成、ブックレット開架)
- ・健やか力HL向上サポート宣言、健やか力HL向上スタートアップinAUHW
- ・HL推進特命部長の配置
- ・健やか力向上サポートインフォメーションセンター(広報、HP)
- ・HL教育力向上(FD/SD)
- ・HL向上新アイデア募集(教職員、学生)

青森県立保健大学

平成27年度 ヘルスリテラシー 推進事業（一部）の紹介

青森県立保健大学による、「ヘルスリテラシー推進事業」。
マスコットキャラクターのモーリーとリンリンも、興味津々の
ようです。



モーリーとリンリン®

こんにちは！青森県立保健大学公式マスコットのモーリーとリンリンです！
ヘルスリテラシーについて、本学上泉学長から色々とお話を聞くことができたよ！
平成27年度の活動予定も教えてもらったから、ぜひチェックしてね！

おしえて！ヘルスリテラシー①



上泉学長、こんにちは！
ヘルスリテラシー向上のために、僕たちも頑張りたいんだけど、
何だか難しそうで。。。色々教えてください！！

モーリー、リンリン、よろしく。何でも聞いてね。



モ・リ：「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート宣言」を見たんだけど、
良くわからなくて…。ヘルスリテラシーって、何ですか？

学 長：二人とも、健康で生活したいって思うでしょ？

モ・リ：もちろん！！

学 長：じゃあ、自分の健康状態が良くないとき、どんな選択をするのがベストか、選べる？

モ・リ：う～ん、その時でないと分からないよ～(><)

学 長：それを選ぶ力（知識）を「ヘルスリテラシー」と言うんだよ（※）。保健大学では、
授業や実習に、「ヘルスリテラシー向上カリキュラム」を組み込むことにより、この
力を持った学生さんを育成していこうと思っているよ。

モ・リ：そうなんだあ。分かったような、分からないような…



おしえて！ヘルスリテラシー②へ

※SMBC日興証券「医師のための経営情報
（平成26年4月号）」内コラム「ヘルスリ
テラシー入門」では、ヘルスリテラシーを
「健康を決める力」と定義しています。

おしえて！ヘルスリテラシー②



ヘルスリテラシー向上のための事業って、僕たちにもできるかなあ…
何だかまだイメージがぼんやりしてるし…

保健大学のヘルスリテラシー事業は、人材の育成だけではなく、
他にもたくさんの取組を予定しているよ。
モーリー、リンリンも協力してくれない？



学 長：普段、健康に気を遣っていることって、ある？

モ・リ：う～ん、塩分控えめ、運動たくさん…？

学 長：もうヘルスリテラシー向上のために取り組んでるじゃない！

モ・リ：え！？そうなんですか？？？

学 長：保健大学が考えるヘルスリテラシー向上の取組は、さっき話した人材育成もそうだけ
ど、地域の皆さんの「健康で生活したい！」という思いの実現のため、一緒に取り組
んでいく全ての活動なんだよ。だから、自分の健康に気を遣う、それもヘルスリテラ
シー向上のための大事な活動だと考えているよ。これから、平成27年度に実施する
活動の一部を紹介するね。できることから、一緒に取り組んでいこうよ！

モ・リ：はい！！！！

27年度活動（一部）の紹介

名称	実施時期	事業趣旨、概要等
「ヘルスリテラシー促進研究」の公募、助成	平成27年4月	広く青森県民の健康に関わる課題解決のために、ヘルスリテラシーを向上させるに資することを目的とした研究課題を募集し、助成する。
健やか力(ヘルスリテラシー)スタートアップイベント	平成27年7月	・記念講演会、座談会 ・健康相談窓口設置 ・ヘルスリテラシーブース展示 等
「ヘルスリテラシー特別公開講座」の開講	平成27年8月11日(火) 14時～15時	本学がセーフコミュニティの推進及び地域福祉の向上に向けた連携等協力して活動を行っている十和田市において、「セーフコミュニティから健康寿命延伸へ」をテーマ(仮)とした特別公開講座を開講する。
健やか力(ヘルスリテラシー)向上サポート新アイデア募集	平成27年度中	ヘルスリテラシー向上に資するアイデアを、広く学生、教職員から募り、必要な経費を助成する。
健やか力(ヘルスリテラシー)向上サポートインフォメーションセンター開設	平成27年度中	ヘルスリテラシー向上サポートを目的に、関係する情報をワンストップで提供できるホームページを開設、運用する。
ヘルスリテラシー関連図書館事業	平成27年度～	①ヘルスリテラシー関連図書ブックフェア ②ヘルスリテラシー関連文献のPDF取り寄せリスト作成、供用 ③学内教員作成のブックレット開架 等を実施。
学部教育課程におけるヘルスリテラシー教育導入のためのカリキュラム改正	学内検討 平成27年度、28年度 申請 29年度 導入 30年度～	カリキュラム改正により、ヘルスリテラシー向上支援できる人材を育成する。



ここにある他にも、まだまだたくさんの活動を予定しているんだって！
情報は随時、本学ホームページ (<http://www.auhw.ac.jp/>) や、
開設予定のインフォメーションセンターでお知らせしていくみたいだよ!!!

青森県立保健大学
ヘルスリテラシー推進事業

平成27年度

平成28年度

平成29年度

平成30年度

平成31年度

青森県立保健大学ヘルスリテラシー(=HL)推進事業を進めるため、以下の事項について管理、実施する。

ヘルスリテラシー推進会議	健やか力HL向上サポート宣言	【4月】宣言(記者発表)			
	健やかカスタートアップinAUHW	【7月】イベント			
	HL推進特命部長の配置				
	特任教授の採用	特任教授採用・任命			
	HL関連事業推進	①HL関連事業の推進 ②大学院における研究指導 ③その他研究活動			
	アイデア公募・助成 ※1 (学生・教職員)	要項作成	公募(年1回)		
	健やか力向上サポート インフォメーションセンター ※2	HP開設	HL関連情報を随時更新・提供		
	広報(記者発表他)	HL向上の取組みを情報発信(各種メディア・広報誌等)			
	HL教育能力の向上	15	FD研修会を開催(メインテーマ:地域におけるHL向上に向けた取組み)		
	評価体制の整備				
	【学内】HL推進会議	毎年度評価		最終評価	
	【学外】青森県評価委員会	毎年度評価			

※1 HL向上をサポートする斬新なアイデアを、学生・全教職員から広く募集し、活動費を助成する。

※2 HL向上をサポートすることを目的に、市民をはじめとして、保健医療福祉関係者、学生などを対象に、様々な情報を集約し提供するためのHPを開設し、運用する。

**青森県立保健大学
ヘルスリテラシー推進事業**

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
--------	--------	--------	--------	--------

健やか力(ヘルスリテラシー=HL)向上サポート宣言を受けて、以下のとおり青森県立保健大学HL推進事業を進める。

本事業は、青森県が抱える短い平均寿命、高い生活習慣病死亡率、高い小児肥満率などの健康課題の解決に向け、地域活動への学生参画を通して、地域住民の“健やか力(HL)”の向上を支援する人材を育成し、もって地域の課題解決に資することを目指すものである。

大学の理念である、ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成するとともに、ヘルスリテラシーを合わせ備える人材を育成するため、カリキュラムを改正して教育の一環として本事業に取り組む。ヘルスリテラシーを身につけた人材を地域に展開することで、地域のヘルスリテラシー向上につながることを期待する。

人材育成班	学部教育課程でのヘルスリテラシー教育	①5科目群の検証 ②HL科目群新設の検討 ①学部科目への導入実施 ②科目群名称変更③HC特殊講義への導入 12 第5次カリキュラムに向けた導入の検討	看護学科、理学療法学科、社会福祉学科、栄養学科含む 次期カリキュラムの申請・決定	第5次カリキュラムでの実施
	人間総合科学科目への導入 健康科学部専門科目への導入 専門科目への導入	5 6 実施の検証	①学生活動の公募②活動推進支援	
	HLに関わる学生の自主的活動支援・事業化	学生活動の把握	HLプロモーター活動事業化検討	HLプロモーター活動事業化
	大学祭を機会としたHL向上推進	①HL関連企画の実施協力(公募・実施) ②学生によるHL向上関連自主活動の展示		
地域研修班	HL向上を目的とした講座	31 ①保健大学すこやかゼミ(毎年度開催) ②ヘルスリテラシー特別公開講座(毎年度開催・十和田市又は八戸市)		
	青森市連携事業	・ピアルーム開設(年3回) ・市民公開講座の開催(年1回)		
	杖なし会(週2回) 青森健康づくりリーダー・サポーター 思春期ピアサポート	青森市との調整 スキルアップ研修協力	要支援者の受入れ 29 サポーターの活動協力	介護予防・日常的支援総合事業への展開
	ココかれっじ(NPO協働事業) ケア付きねぶた(共催事業)	ピアカウンセラーの養成※平成26~29年度で4学年のカウンセラー養成 30 青森市との調整	青森市を講師とした講座の開催	青森市保健所との調整 保健所とのピアルーム合同開設 参加者拡大
		共催の継続		
		・子育て応援ルームを開設(週1回) ・保護者向け講座の開催(月1回) ・NPO法人との協働事業契約を継続		
知識還元班	ヘルスリテラシー推進研究	26 公募(~30年度)	健やか力向上サポート HC学会と青森県保健医療福祉研究発表会の合同開催	研究助成(~31年度)
	研究センター指定型研究【新規】5課題公募(最長2年) 助成研究等の成果発表		27 研究成果の発表	
	大学院機能を活かした人材育成と研究推進			
	コース・カリキュラムの検討・改変 HL関連教育・演習の展開 院生の参加による研究の推進	10 コース・カリキュラム検討	新コース・カリキュラムへの移行	新コース・カリキュラムの①検証 ②運営改善
	地域への成果還元	試行的授業(地域保健分野)	医療に関わるHLを含めた、総合的な教育(講義、演習、研究指導)体系の①確立 ②展開	
	大学院の教育・研究を通じた地域資源の強化 研究成果の戦略的還元	社会人大学院生等による「HL推進研究」等への①積極的な参画 ②現場への成果還元		
		企画・準備	自治体、市民団体、民間等との①ネットワークづくり ②戦略検討	様々なパートナーシップに基づく社会ニーズに合致した成果還元
図書館	HL関連図書のブックフェア	関連図書の購入		
	①図書の購入 ②ブックフェア開催		ブックフェア開催	
	関連文献の①取り寄せ(PDF保存) ②リスト作成	①関連文献の検索②取り寄せ ③リスト作成④供用開始		供用
	学内教員作成のブックレット開架		通年開架	
	関連図書の県内公共図書館(移動図書)でのブックフェア開催	公共図書館へのアンケート調査		移動図書館フェア